

## 滋賀県障害者文化芸術活動推進計画(現行)の取組状況と課題等

滋賀県障害者文化芸術活動推進計画(現行)では、令和2年度(2020年度)から令和5年度(2023年度)の4年間を取組期間とし、3つの基本的な方向(柱)を定めて取組を進めてきました。

令和4年度までの3年間における、施策の柱ごとの取組状況、成果と課題は以下のとおりです。

## 施策の柱1「親しむ」

- ◆重点施策① 障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に楽しめる公演や展覧会等の推進
- ◆重点施策② 障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に自由な発想で表現する機会の創出
- ◆重点施策③ 障害者の作品を発表する機会の充実

## (1)取組状況

- 「文化芸術×共生社会」プロジェクト(※1)の実施により、手話通訳、字幕、音声ガイド、ヒアリングループ、サウンドハグ、看護師配置など情報保障のモデル事例を蓄積させるとともに、情報保障の内容を事前に明示するため、アクセシビリティ・アイコンを製作しました。【重点施策①②



## ③】(例)



要約可能



手話通訳



字幕表示

ヒアリング  
ループ席車いす席  
あり

- 県内の小学生等が参加する「びわ湖ホール音楽会へ出かけよう！(ホールの子事業)」の実施により、特別支援学校の児童生徒が舞台芸術と一緒に鑑賞しながら学ぶ機会を提供しました。【重点施策①】

- 障害者の芸術鑑賞に関するワークショップや、糸賀一雄記念音楽祭、ボードレス・アートミュージアムNO-MAにおける音声ガイドや字幕表示の鑑賞支援等の取組を支援しました。

## 【重点施策①】



- 県立美術館や県立陶芸の森など地域の文化施設において、障害者や重度障害者の介助者に対して、観覧料の減免等を行うことにより、鑑賞しやすい機会の充実を図りました。【重点施策①】

- 「つつっこプログラム」の実施や滋賀次世代文化芸術センター等への支援により、アーティストと福祉団体や学校等が連携して、障害の有無に関わらず一緒に自由な発想で表現するワークショップを開催しました。【重点施策②】



- ぴかっ to アート展の開催や、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAおよび糸賀一雄記念賞音楽祭への支援により、障害のある人の作品の発表やステージパフォーマンスの機会を提供しました。【重点施策③】



### (※1)「文化芸術×共生社会」プロジェクト

滋賀県障害者文化芸術活動推進計画の実践として、令和2年度には、県内の文化団体や福祉団体、県や市などが連携する「文化芸術×共生社会プロジェクト」実行委員会を設置し、10のモデル事業を実施。

令和3年度には、その成果をもとに、関係団体との連携をより深め、誰もが文化芸術に参加できる事業を「文化芸術×共生社会フェスティバル」として11のプログラムと滋賀県立美術館企画展「人間の才能 生み出すことと生きること」を開催。

### (2)成果と課題

#### 成果

- 文化芸術プログラムにおいて、休憩スペースの設置や会場を暗くしすぎない配慮、観覧料の減免、情報保障などを行うことで、障害特性に応じた鑑賞サポートのノウハウの蓄積を図るとともに、視覚・聴覚に障害のある方や来場が難しい方などの芸術鑑賞の機会の創出につながりました。【重点施策①】
- アーティストと福祉団体や学校等と連携し、文化芸術体験プログラムを開催することで、障害のある人とない人が一緒に表現する機会を充実させることができました。【重点施策②】
- 公募展のインターネットを活用した応募方法の拡充や、民間団体主催の障害者の作品発表を支援することで、文化芸術に親しむ障害者の裾野を拡大するとともに社会参加の促進を図りました。【重点施策③】

#### 課題

- 情報保障を行ったプログラムが少ないことや、障害特性によって必要となる鑑賞支援や配慮も異なることから、より多くの人が文化芸術に触れられるよう、引き続き機会の充実に取り組むことが必要です。【重点施策①】
- 文化施設において、多目的トイレの設置数が少ないことや障害がある出演者にとって通路が狭いことなど、設備面での障壁が課題となっています。【重点施策①】
- 造形活動や表現活動など表現する機会が限られていることから、誰もが楽しむことのできるワークショップなどの機会の拡充が求められています。【重点施策②】
- 障害者の文化芸術活動の発表の場が限られていることから、公募展や企画展、音楽祭など発表の機会を引き続き確保していく必要があります。【重点施策③】

## 施策の柱2 「つなぐ・支える」

- ◆重点施策① 障害者の文化芸術活動を支える人づくり
- ◆重点施策② 障害の有無にかかわらず、誰もがともに学び活動できる場づくり

### (1)取組状況

- 文化・福祉施設職員、行政職員等を対象に、文化芸術と福祉分野における連携や取組方法についての人材育成研修会やワークショップを開催しました。【重点施策①】
- アール・ブリュットインフォメーション&サポートセンター（略称：アイサ）が行う障害者の文化芸術活動にかかる権利保護等に関する相談対応や情報提供に対して支援を行いました。【重点施策①】
- 文化芸術と福祉の両分野の知見を有する「文化芸術による共生社会づくりコーディネーター」を公益財団法人びわ湖芸術文化財団に設置し、コーディネーターの企画のもと、オンラインを活用した広域的なネットワークづくりや、市町の文化施設や文化団体を中心に、誰もが参加し楽しめる「場」づくりを行いました。【重点施策②】
- 全国のアール・ブリュット作品等の展覧会など、アートと障害に関するメールマガジンの発行やフォーラムの開催を行う「アートと障害を考えるネットワーク（令和4年11月1日に「アール・ブリュットネットワーク」から名称変更）」を運営しました。【重点施策②】



### (2)成果と課題

#### 成果

- 障害者の文化芸術活動を支援する人を対象とした研修を行うことで、文化芸術分野と福祉分野の関係者が交流する機会となりました。【重点施策①】
- 相談対応や情報提供などを支援することで、障害者の文化芸術活動を支える人や関係者が、必要な知識や技術を身につけることにつながりました。【重点施策①】
- 障害者の文化芸術活動を支える拠点づくりを行うことで、地域の文化施設と文化芸術活動者、福祉関係者のネットワークを構築しました。【重点施策②】

#### 課題

- 障害者の文化芸術活動に関心を持ち活動を支える人を育成していくとともに、障害者など当事者ならではの事情や意見を反映していく必要があります。【重点施策①】
- 障害者の文化芸術活動を活性化していくため、ネットワークを構築した関係者自身が共生社会に資するプログラムを企画・運営していくことが求められます。【重点施策②】

### 施策の柱3「活かす」

- ◆重点施策① 「文化芸術×共生社会」をテーマとした先進的な公演や展覧会等の検討と国内外への発信
- ◆重点施策② 美術作品や舞台芸術作品等の調査・発掘、評価、収集・保存、発表・展示

#### (1)取組状況

- 「文化芸術×共生社会」プロジェクトの実施により、多様な主体同士の情報共有を図るとともに、県内各地で開催する事業を総合チラシやSNS等を活用して一体的な広報を行いました。また、2年間の取組を事業報告書として取りまとめ、同じ分野で活動する県内外の活動者等に広く発信しました。【重点施策①】
- 「日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」の「近畿ブロック&グランドフィナーレ」への参画により、「文化芸術×共生社会」プロジェクトをはじめとする本県のこれまでの取組や障害者の文化芸術の魅力を国内外に発信しました。【重点施策①】
- 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおけるバリアフリー朗読劇の上演に際し、手話通訳や字幕、車椅子席の増設、点字パンフレットの配布を行うことにより、これまで劇場を利用する機会が少なかった方にも舞台芸術の魅力を伝えました。また、出演者は年齢や性別、障害の有無や演技経験の差を超えて選ばれ、交流を創出しました。【重点施策②】
- 滋賀県立美術館では、企画展として「人間の才能 生み出すことと生きること」を開催するとともに、県民に優れた美術作品の鑑賞機会を提供するため、アール・ブリュット作品の購入や寄贈を受け作品の収集・展示を行いました。また、アール・ブリュットおよび信楽焼の常設コーナーを新設し、それぞれの作品や制作現場の紹介、滋賀の社会福祉施設における取組や創作活動について展示を行っています。【重点施策②】



写真:守屋友樹



## (2)成果と課題

### 成果

- 「文化芸術×共生社会」プロジェクトの実施を通して、県民に対して、文化芸術活動による共生社会づくりに向けた機運醸成につながりました。【重点施策①】
- 文化・福祉団体など多様な主体との連携・協力により、団体同士の活動実績や活動拠点の拡大、団体同士の活動情報の共有を図ることができました。【重点施策①】
- 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて、バリアフリー演劇を行ったことで、障害の有無にかかわらず、これまで劇場に来る機会が少なかった人に舞台芸術の魅力を発信しました。【重点施策②】
- 宿泊施設等において、滋賀の福祉の現場から生まれた作品の展示や造形活動に取り組む施設を紹介することで、作品の魅力を発信しました。【重点施策②】

### 課題

- 文化芸術活動による共生社会の実現のためには、一過性とならないよう県・市町や民間団体による継続的な取組が求められます。【重点施策①】
- 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールをはじめとする県内の文化施設において、障害者の舞台芸術の公演を継続的に行っていくことが必要です。【重点施策②】
- 滋賀県立美術館では、アール・ブリュット作品の研究・収集・保存・展示を継続的に行っていくことが必要です。【重点施策②】